

## 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                   |            |           |
|---------|-------------------|------------|-----------|
| 事業所番号   | 1195700024        |            |           |
| 法人名     | 株式会社 サン・トラベル福祉事業部 |            |           |
| 事業所名    | グループホーム平野ひので      |            |           |
| 所在地     | 埼玉県蓮田市上平野1944-5   |            |           |
| 自己評価作成日 | 平成31年2月7日         | 評価結果市町村受理日 | 平成31年4月4日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |                                                                                                               |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/11/index.php</a> |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                     |  |  |
|-------|---------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社シーサポート          |  |  |
| 所在地   | 埼玉県さいたま市浦和区領家2-13-9 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成31年3月16日          |  |  |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者一人、一人に向き合いながら、家族のように生活ができる施設作りを職員全員で目指している。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

●チェアインバスを導入しており、皆が湯船につかることができる環境をつくっています。入浴に限らず利用者の状態にあわせた支援実践に配慮と意思を理解することができます。

●広い敷地を有しており、体操や外気浴を楽しめる環境があります。畑でとれた野菜をBBQにて楽しむなど利用者と共に自然を満喫しています。

●24時間常時診療および相談できる環境をつくっており、利用者・家族が安心できる体制を整備しています。また医療機関・家族等から聴取した情報を職員に周知し、職員同士がフォローし合いながら利用者の意向に沿った支援となるよう取り組んでいます。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項 目 |                                                    | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   | 項 目 |                                                                     | 取 り 組 み の 成 果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   |
|-----|----------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 56  | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63  | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57  | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○                           | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                           | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58  | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                           | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59  | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66  | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                           | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60  | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61  | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68  | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                           | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62  | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                           | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |     |                                                                     |                             |                                                                   |

# 自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

| 自己         | 外部  | 項 目                                                                                           | 自己評価                                                             | 外部評価                                                                                  |                                              |  |
|------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|--|
|            |     |                                                                                               | 実践状況                                                             | 実践状況                                                                                  | 次のステップに向けて期待したい内容                            |  |
| Ⅰ.理念に基づく運営 |     |                                                                                               |                                                                  |                                                                                       |                                              |  |
| 1          | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 法人の理念である、家族的な施設作り、日々笑顔で絶えない施設作りを行い、地域に溶け込んだ施設作りを実施している。          | 自立した生活の実践・地域との連携等理念を掲げ、日々の支援にあたっています。人生経験豊かな職員による安定した・家庭的な支援により落ち着いた生活を営む環境が提供されています。 |                                              |  |
| 2          | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 地域の行事等へは積極的に参加している。                                              | 近隣の方々とは日常を通して交流がなされています。野菜のお裾分けを頂いたりと温かな親睦が深められています。                                  |                                              |  |
| 3          |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | 地域に向けた取り組みを日々実施し、ご家族に認知症症状、認知症の理解、認知症の対応についてお話をさせて頂いている。         |                                                                                       |                                              |  |
| 4          | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 施設都合により実施しておりません。                                                | 開催されておらず、日常的な交流にとどめられています。                                                            | 年間の定期的開催を再開し、多様な方々からの貴重な意見を運営に反映することが期待されます。 |  |
| 5          | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                 | 地域包括、各関係機関と十分な連携体制を図り常に協力体制を築いている。                               | 行政・地域包括支援センターとともに日々の支援や困難ケース等での相談に応じてもらっています。今後も関係性を継続しながら協調した支援に取り組む意向を持っています。       |                                              |  |
| 6          | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 法人の身体拘束マニュアルに沿って、禁止事項を行わない為の研修を定期的実施。又研修に参加出来なかった職員には個別研修を行っている。 | 委員会の開催、資料の配布等を通して職員への周知を図っています。玄関の施錠をせず、利用者の自由な生活を保障しています。                            |                                              |  |
| 7          |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | スケジュールのなかに高齢者虐待に関する研修を行い、痣等の発見した際は記録への記入と申し送りを徹底実施している。          |                                                                                       |                                              |  |

| 自己 | 外部  | 項 目                                                                                            | 自己評価                                                          | 外部評価                                                                                                |                   |
|----|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |     |                                                                                                | 実践状況                                                          | 実践状況                                                                                                | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 成年後見制度について理解を深め、成年後見制度外部研修がある際は積極的に参加し、必要時には説明が出来るように準備している。  |                                                                                                     |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 入所前にご家族と話し合いをし、納得して頂いた上で契約を行っている。解約時にはご家族様に相談を行い、解約の理解を図っている。 |                                                                                                     |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 一か月に一度、ご家族様に、要望、意見、アンケートを送付し、施設に対する要望等を聴きし施設サービスに反映させている。     | 利用料を持参してもらうなど家族との関係性の維持に対して工夫した取り組みがなされています。またソーシャルネットワーキングサービスを利用し、画像や動画を送るなど日常の様子をタイムラグなく報告しています。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 定期的に職員への個別面談を実施し、施設に対する、要望、意見、提案等を聴き入れて施設運営に反映させている。          | 日々の申し送り時に口頭および文書で利用者の変化や状況を共有するよう努めています。                                                            |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 職員から現在の職場要望を聴いている。                                            |                                                                                                     |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 定期的に事業所内研修を実施。又外部より専門の講師を招き入れ講習会を実施し職員のスキルアップに努めている。          |                                                                                                     |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 外部研修に参加し、研修参加者との交流機会を図り、情報の共有や交換を行っている。                       |                                                                                                     |                   |

| 自己<br>外部            | 項目  | 自己評価                                                                                 | 外部評価                                                                               |                                                                            |  |
|---------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|--|
|                     |     | 実践状況                                                                                 | 実践状況                                                                               | 次のステップに向けて期待したい内容                                                          |  |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 |     |                                                                                      |                                                                                    |                                                                            |  |
| 15                  |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 外部研修に参加し、研修参加者との交流機会を図り、情報の共有や交換を行っている。                                            |                                                                            |  |
| 16                  |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 徹底したアセスメントを行い、本人の出来る事を把握し、より良い関係が構築出来る様に務めている。                                     |                                                                            |  |
| 17                  |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | フォーマルなサービスのみではなく、インフォーマルなサービスも含め検討している。                                            |                                                                            |  |
| 18                  |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 常に入居者・職員が総合的に支えあえるような関係作りに努めている。                                                   |                                                                            |  |
| 19                  |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 日頃から面会を促し、ご家族に入居者の日々の生活や様子を伝えている。サービス担当者会議を実施し、入居者一人、一人の情報を共有し、共に支えていく関係作りに努めている。  |                                                                            |  |
| 20                  | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 主となるご家族だけではなく、入居者に関わる方への面会も許可を得れば喜んでお受けしている個別な外出支援を行い、馴染みの場所や、人に会う機会を積極的に提供実施している。 | 新聞の購読・ラジオ体操の実施など利用者の習慣を大事にした支援に努めています。利用者の特徴を把握し、それぞれに楽しめる生活となるよう取り組んでいます。 |  |
| 21                  |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 入居者同士のトラブルにならぬよう、入居者の関係性に注意を払い、共に楽しく過ごせる時間を設けている。                                  |                                                                            |  |

| 自己                                 | 外部   | 項目                                                                                                     | 自己評価                                                             | 外部評価                                                                               |                   |
|------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                    |      |                                                                                                        | 実践状況                                                             | 実践状況                                                                               | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | やむを得ず、退所の場合も施設でのサービスのフォローを行い、情報、相談に対する援助も継続して行っている。              |                                                                                    |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |                                                                                                        |                                                                  |                                                                                    |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | 入居者一人、一人に、担当職員を付け、ミーティング時に、入居者の思い、要望を職員で話し合い、入居者に沿った支援を行っている。    | 医療機関・家族等から聴取した情報を職員に周知し、利用者の特性の把握に努めています。職員同士がフォローし合いながら利用者の意向に沿った支援となるよう取り組んでいます。 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入居者の生活歴をご家族にお伺いをし、入居前の生活が継続できるように支援を行っている。                       |                                                                                    |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | 入居者の日々の様子を職員間で共有出来るよう日々の記録や、申し送りにて具体的内容を報告行うように努めている。            |                                                                                    |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 介護支援専門員・計画作成担当者・担当職員が出席し、サービス担当者会議を行い、その場の意見などを聞き入れて介護計画を作成している。 | 記録簿にはケアプランを付し、職員がいつでも確認できる環境としています。家族・職員の意見を聞きながら利用者の自立を促進する計画となるよう策定に取り組んでいます。    |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々の記録において、入居者の1日の様子や職員の対応方法を記録することで情報を共有している。                    |                                                                                    |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 通院や、買い物、外出、その時々々のニーズに合わせて又ご家族の要望に少しでも対応出来るように支援している。             |                                                                                    |                   |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                                 | 自己評価                                                                          | 外部評価                                                                     |                                        |
|----|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
|    |      |                                                                                                                     | 実践状況                                                                          | 実践状況                                                                     | 次のステップに向けて期待したい内容                      |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 地域資源を活用し、一人、一人に合う外出支援を実施している。                                                 |                                                                          |                                        |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | 在宅医師クリニック医師に来ていただき、24時間常に医療が受けられるような体制を図っている。                                 | 24時間常時診療および相談できる環境をつくっており、利用者・家族が安心できる体制を整備しています。往診時の指導をもとに健康管理にあたっています。 |                                        |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 訪問医師に月2回来て頂き、入居者の情報を詳しく伝え、健康管理に努めている。                                         |                                                                          |                                        |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時は面会に行き、状況把握と常に病院との情報交換を行っている。                                              |                                                                          |                                        |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 法人として、重度化、ターミナル指針は作成されている。契約前に重度化により退所に至るケースを説明している。その際、関係機関施設と連携しフォローに努めている。 | 重度化と終末期の支援に対してホームの方針が定まっています。利用者・家族の意思を聞き、医療機関と連携し、希望に沿った支援の提供にあたっています。  |                                        |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                              | 定期的に緊急マニュアルに沿った研修を行い、消防署員による救命講習を受けている。                                       |                                                                          |                                        |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                                              | マニュアルが作成されており、年3回の訓練を実施している。                                                  | 火災想定等の避難訓練が実施されています。地域の消防団の協力を得ながら万一の事態に備えるよう努めています。                     | 火災・自然災害について定期の避難訓練実施を予定しており、実現が期待されます。 |

| 自己                       | 外部   | 項 目                                                                               | 自己評価                                                                                             | 外部評価                                                                       |                   |
|--------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                          |      |                                                                                   | 実践状況                                                                                             | 実践状況                                                                       | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 |      |                                                                                   |                                                                                                  |                                                                            |                   |
| 36                       | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                    | 入居者に対しての言葉使いや、トイレ誘導時の気配りやプライバシーを守るように職員へ日々呼びかけている。                                               | 利用者の意思を尊重し、無理強いしない支援に努めています。利用者が心地よく暮らせるよう考慮した声掛けが心がけられています。               |                   |
| 37                       |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | 入居者を支援する際、その都度思いを確認しながらサービスを行っている。                                                               |                                                                            |                   |
| 38                       |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 個別性のある生活を提供している。入居者に拒否な態度が見られる時は無理強いせず、入居者のペースに沿った援助を行っている。                                      |                                                                            |                   |
| 39                       |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | 介助が必要とする入居者に対しては、起床時に髪を整える等のエレガンスを行っている。                                                         |                                                                            |                   |
| 40                       | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | 出来る入居者に対しては、盛り付け、配膳、下膳等を手伝って頂き、食事を職員と一緒に召し上がって頂いている。目の前の畑で収穫した野菜を使い、一緒に調理をして頂いている。               | 低栄養状態とならないよう管理栄養士からの指導・助言に基づき支援に努めています。栄養補助剤やゼリー等を活用しながら利用者の健康保全に取り組んでいます。 |                   |
| 41                       |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | 毎日の食事、水分摂取量を毎日記録し、入居者の日々の変化に気が付けるように努めている。又食事制限、水分制限のある方に付いては主治医、管理栄養士に、看護師の助言をえて食事、水分の提供を行っている。 |                                                                            |                   |
| 42                       |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                    | 毎食後に、口腔ケアを声掛けを行い実施している。                                                                          |                                                                            |                   |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                         | 自己評価                                                                         | 外部評価                                                                        |                   |
|----|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                             | 実践状況                                                                         | 実践状況                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 入居者それぞれの排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っている。必要に応じて、パッド等の使用の検討を行い、適切な対応に努めている。             | 日々の排せつについて記録に残しています。定時での誘導により自然な排せつとなるよう心がけています。                            |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                                              | 便秘予防の為、水分摂取の確保や、ヨーグルトや食物繊維の含まれる食材を利用し便秘予防に努めている。                             |                                                                             |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 入浴日は決まっている物の、入居者の体調に合わせて行っている。入浴剤等を入れリラックスして入浴が出来る様に努めている。                   | 利用者の清潔保持と快適さのため、定間隔での入浴実施に取り組んでいます。チェアインバスを導入しており、皆が湯船につかることのできる入浴を実践しています。 |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                                               | 日中に疲れが見られる入居者には、自室にて休養を促している。又日中帯は適度な散歩も設けている。                               |                                                                             |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                          | 職員は、入居者一人、一人の薬について把握、理解をしており、その人に合っている服薬支援を行っている。定期的に薬剤師を招き薬についての勉強会も開催している。 |                                                                             |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 入居前、入居時に、ご家族、本人から生活歴を伺い、本人に適した方法で支援を考えて行く。                                   |                                                                             |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 日々の外出、(通院、買い物、散歩)はご希望に対応しております。                                              | 広い敷地を有しており、体操や外気浴を楽しめる環境があります。畑でとれた野菜をBBQにて楽しむなど利用者と共に自然を満喫しています。           |                   |

| 自己 | 外部   | 項 目                                                                                                                              | 自己評価                                                        | 外部評価                                                           |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                        | 実践状況                                                           | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | 基本的には、事務所にてお預かりしているが、ご家族の了解のもとであれば、本人が持っている。                |                                                                |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | 電話、郵便物の希望がある時は、随時対応している。                                    |                                                                |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有スペースは、毎日除菌、清掃を行い、環境面、安全に努めている。又昭和の飾りつけなどを入居者と一緒に作成、飾っている。 | 2ユニットが平屋建てとなっており、廊下等広い共有スペースが確保されています。除菌・消毒等を心がけ、衛生の管理に努めています。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | ソファや、テーブルを配置し、入居者様が何時でもくつろげる環境整備に努めている。                     |                                                                |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | 入居時に、使い慣れた物、思い出の物、仏壇等を居室に配置し、少しでも前の生活と同じような環境作りに努めている。      | 仏壇、タンスなど使い慣れた家具が持ち込まれており、居室はゆっくりとくつろげるスペースとなっています。             |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                             | 入居者一人、一人のADLを理解し、危険のないように工夫している。                            |                                                                |                   |

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム平野ひので

## 目標達成計画

作成日：平成31年4月3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |          |                           |                                                     |                                                                                               |                    |
|----------|----------|---------------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 優先<br>順位 | 項目<br>番号 | 現状における問題点、課題              | 目標                                                  | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容                                                                            | 目標達成<br>に要する期<br>間 |
| 1        | 4        | ここ数年運営推進会議の開催が行われていない。    | 今年度より確実に開催日程を決め運営推進会議を行っていく。                        | 事前に開催日を決め、町内会長、ご家族、民生委員、役所担当者の方々へあらかじめ開催日程案内を送付し参加して頂けるようにお願いする。                              | 3ヶ月                |
| 2        | 2        | 地域との関わりや災害時などの連携、地域貢献の確立。 | 地域の子供、お年寄り等が気軽に訪問できるような関係を作り、ホームが集いの場、相談の場となるようにする。 | 地域の中に出向き、馴染みの関係を作り、理解信頼関係を築き上げ、定期的に地域の方々を招きホームを公開する。施設の職員は介護の専門職として地域の課題を知り、地域の方々と一緒に取り組んでいく。 | 12ヶ月               |
| 3        |          |                           |                                                     |                                                                                               | ヶ月                 |
| 4        |          |                           |                                                     |                                                                                               | ヶ月                 |
| 5        |          |                           |                                                     |                                                                                               | ヶ月                 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。